KYUSHU UNIVERSITY

2025年度
大学発医療系スタートアップ支援プログラム
公募説明会

九州大学
生命科学革新実現化拠点
橋渡研究推進部門

本日の内容

1．九州大学の医療系スタートアップ支援 **QUICK**について

2．2025年度　公募内容

3．質疑応答

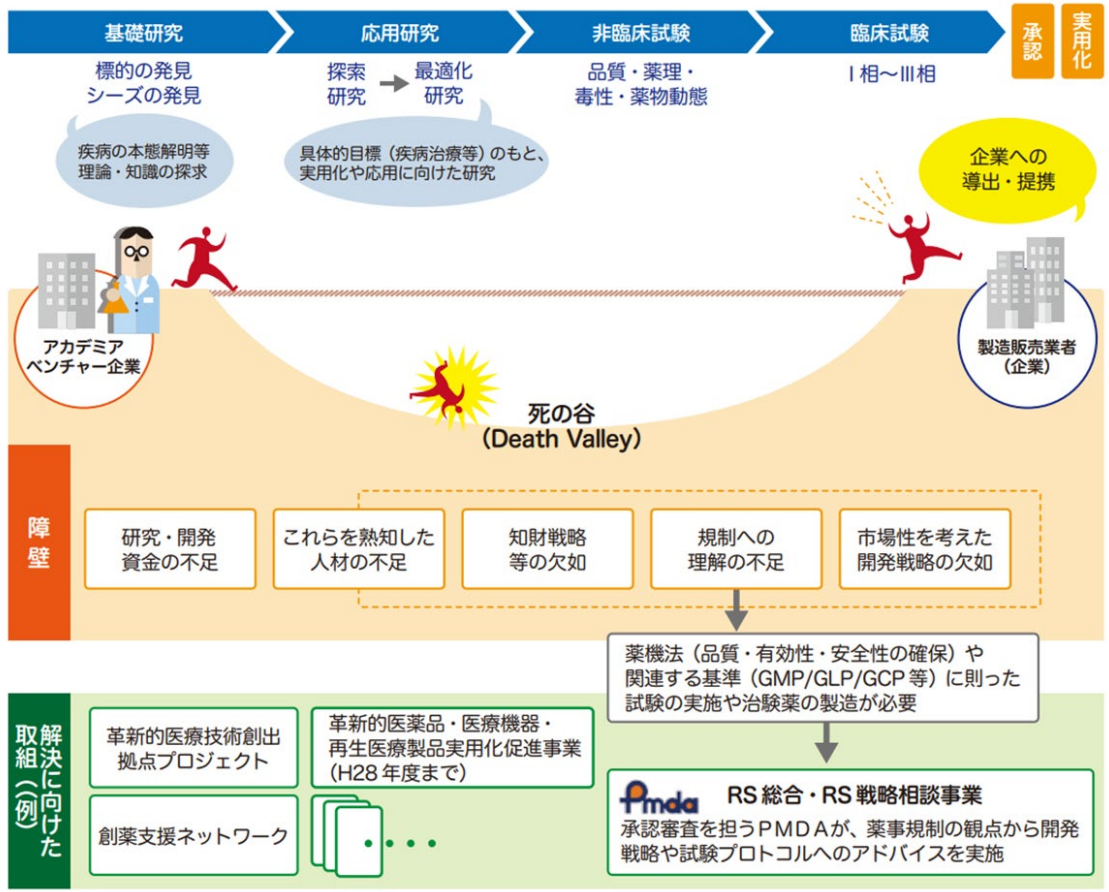
KYUSHU UNIVERSITY

１．九州大学の医療系スタートアップ支援

QUICKについて

KYUSHU UNIVERSITY

大学発医療系スタートアップ支援プログラム



橋渡し研究支援プログラム：54億円

医師主導治験や企業導出に向けたシーズの発掘、育成支援を実施。

基礎研究 → 応用研究 → 非臨床研究 → 臨床研究・治験

- **シーズA**：特許取得等を目指す課題を各機関が主体的に発掘・育成
- **preF**：非臨床POC取得に必要な試験パッケージの策定を目指す課題
- **シーズF**：企業との連携推進を義務化し、企業からのコミットメントを求め、実用化の加速のため産学協働でPOC取得を目指す課題
- **異分野融合型研究開発推進支援事業**：非医療分野の技術移転と医療応用のための課題
- **シーズB**：非臨床POC取得を目指す課題
- **シーズC**：臨床POC取得を目指す課題

大学発医療系スタートアップ支援プログラム：152億円（令和５年度補正予算・基金）

橋渡し研究支援機関から選抜した機関に対し、大学発医療系スタートアップの起業に必要な専門的な支援や関係業界との連携を行うための体制整備費を支援。
起業前から、非臨床研究などに必要な資金を柔軟かつ機動的に支援。

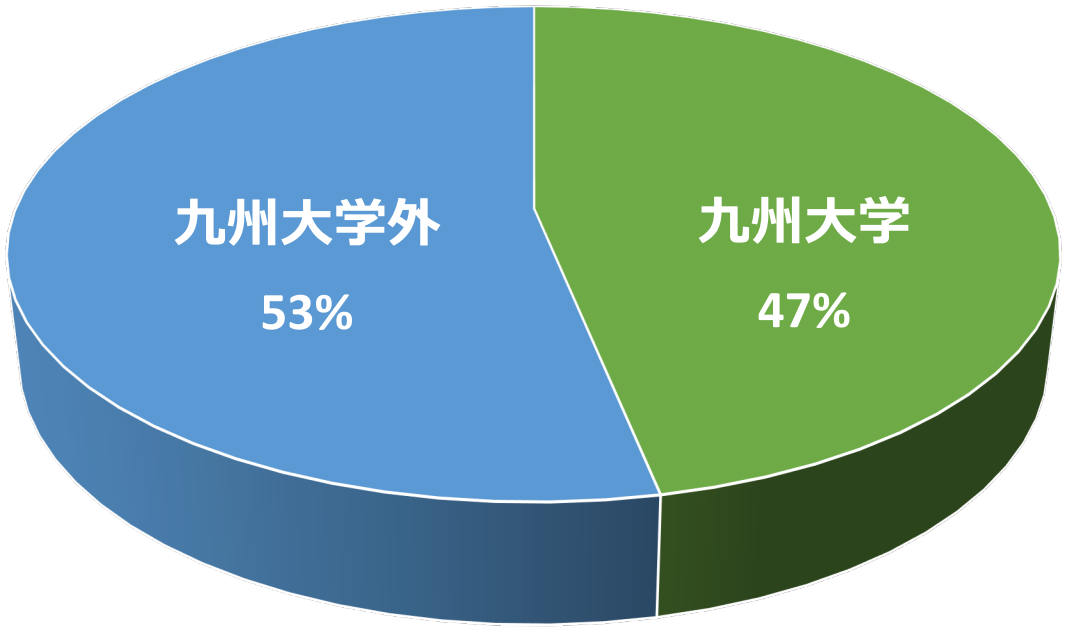
- **シーズS0**：起業を目指す若手研究人材を発掘・育成
- **シーズS1**：起業を目指す課題を発掘・育成
- **シーズS2**：起業直後でVC等の民間資金獲得を目指す課題

QUICKの概要

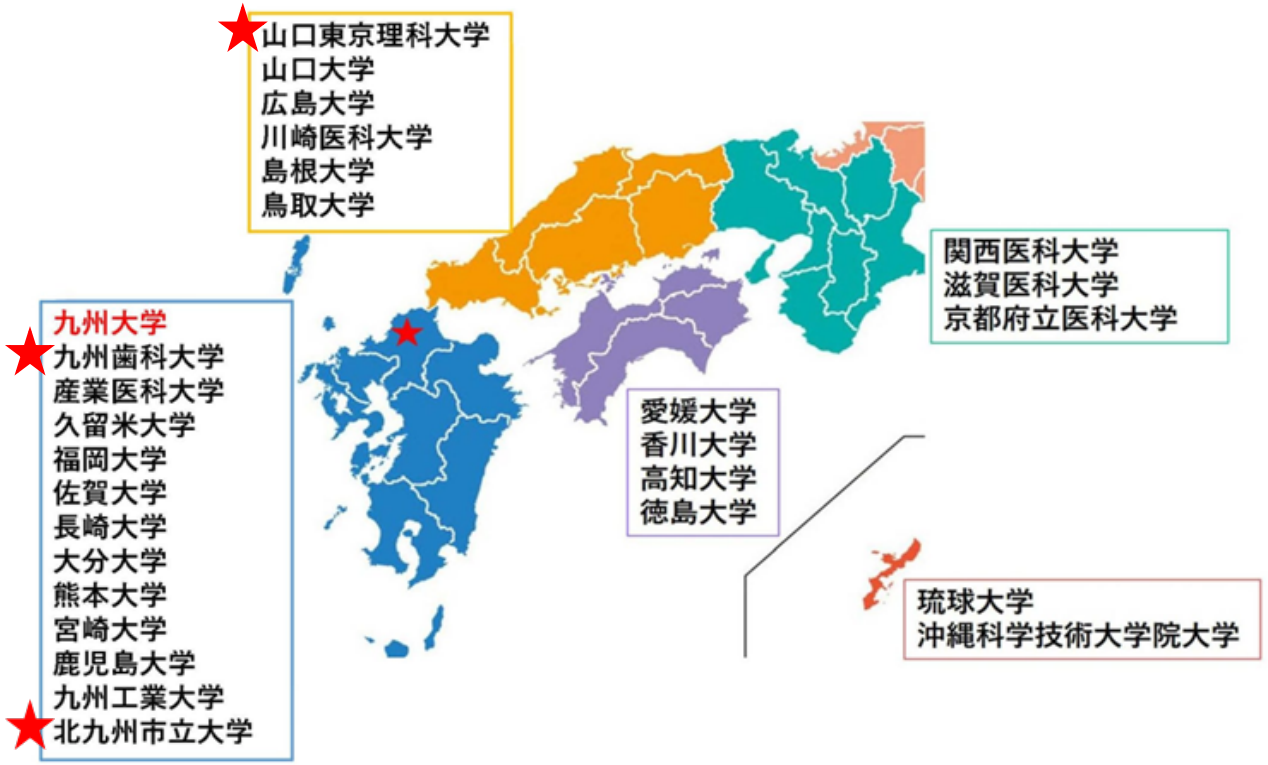
総合知を新医療へ、九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムの構築

発掘：WAT-NeW等外部からも良質シーズ

支援シーズ総数(124)



WAT-NeW参画大学



GAP支援：経験あるPMの伴奏

JSTの大学発新産業創出基金スタートアップ・エコシステム共創プログラム

PARKS
Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem

60億円

シーズS0 → S1 → S2

QUICK
QUANTUM UNIVERSITY INNOVATION CYCLE FROM KYUSHU

30億円

良質な医療系シーズを接続

橋渡しPM+学産PM 伴走支援

PARKS(異分野)

WAT-NeW

九州大学 イノベーション チャレンジ ファンド

25億円目標に構築中

以下に対応する医療系に特化した支援：
薬事戦略（TPP、明確な薬事出口、least burdensome path）
知財戦略（医療系シーズ事業化に資する強い特許、blackbox化）
事業戦略（STP, GMP/QMS、保険戦略、有利な導出、M&A/IPO）

シーズH(異分野)　シーズA　　**シーズB/F　　シーズC**

インキュベーション施設：
1. 九州大学病院 R&D 棟
2. 福岡市 Fukuoka Growth Next
3. 福岡県バイオコミュニティ

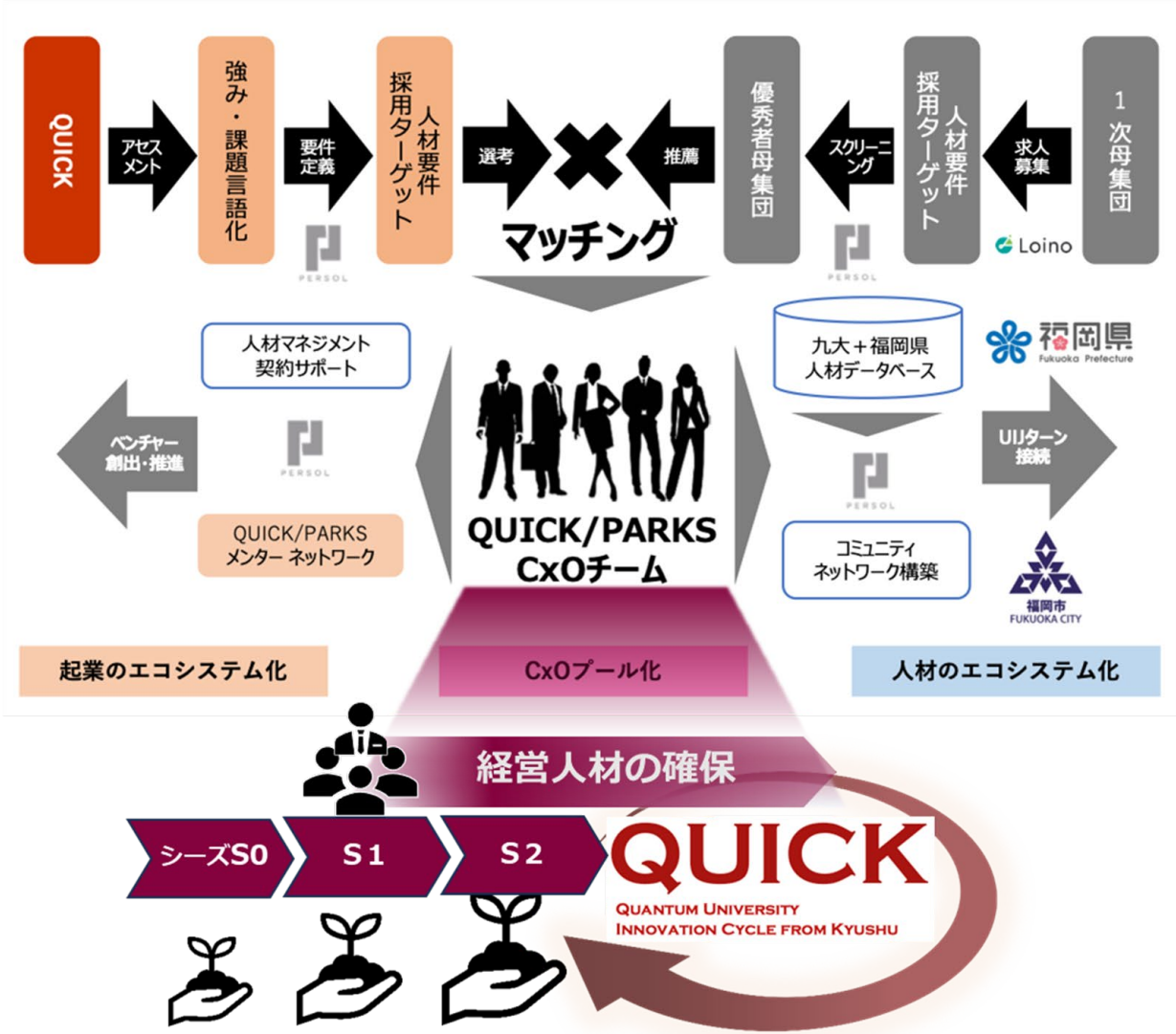
共同研究

POC後導出

製薬会社・医療機器会社

官学共同のCxOプールを活用

CxOバンク（九州大学＋福岡県商工部新事業支援課構築）令和5年404人登録



CxO人材構成：
CEO 31%, 事業部長21%, CFO 12%, CMO 9%, その他27%

居住地域：
首都圏67%, 関西圏11%, 九州13%

CxOバンク 人材例：

A氏：
- 大手外資系製薬企業　研究開発チームリーダー
- 大手外資バイオ系企業　CRO事業のマーケティング・セールスマネジャー
- 国内大手化学メーカーにてバイオ関連新規事業開発

B氏：
- 大手外資系医療機器メーカー　マーケティング、プロダクトマネジャー
- 海外勤務経験5年以上。
- 国内医療機器SUにて事業開発、製品開発業務を担当。

C氏：
- 大手外資系製薬企業　MR
- 大手外資系コンサル　製薬企業合併／創薬ポートフォリオ戦略立案
- 外資系医療系コンサル・CRO　マネジャーとして日本含むアジア各国の臨床試験のマネジメント

アントレプレナーシップ教育：重層的提供

1. QREC (Robert Huang Entrepreneurship Center　2010年創設)

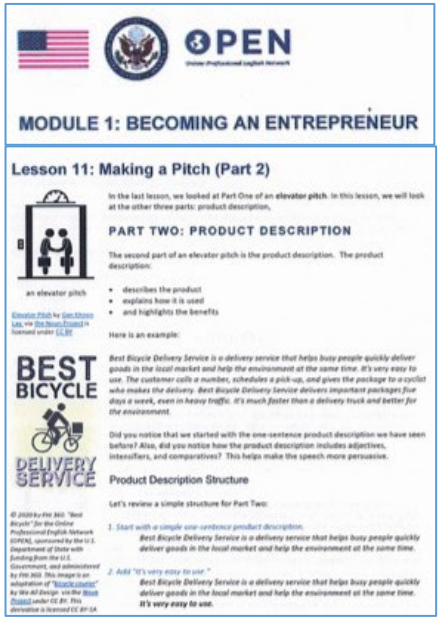
1) EUのEntreComp（国際水準）に整合したカリキュラム
2) 九州大学中期計画に位置付けて、継続的運用を担保
3) 学生の自主活動支援(Student Initiative Program)による豊富な実践機会

2. TSMTP

NIH/NCATSのプログラムに
沿って橋渡し・創薬の基礎

3. 米国領事館

Georgetown大学英語教育専門家に
よる「起業家のための英語講座」



4. FBCAP

(福岡バイオコミュニティ・
アクセラレーションプログラム)

福岡市・県から国際展開

福岡市は5年連続で開業率トップ		
順位	都市名	開業率（%）
1	**福岡市**	**5.3**
2	名古屋市	5.0
3	さいたま市	4.7
4	東京23区	4.5
4	大阪市	4.5
6	横浜市	4.4
6	千葉市	4.4
6	相模原市	4.4
9	熊本市	4.3
10	川崎市	4.2

(注) 2022年度分、雇用保険適用事業所ベース
(出所) 福岡市経済観光文化局

11カ国・地域
15拠点

JAPAN,FUKUOKA
STARTUP
PACKAGE
for Foreign Entrepreneurs

国家戦略特区（福岡市）で起業家を優遇

- スタートアップビザ
- 事務所等の賃料補助
- スタートアップ法人減税

福岡県

福岡バイオコミュニティ
FUKUOKA BIOCOMMUNITY

2023年

定期的にベンチャーと共にMass Bio等 Boston訪問

SPARKGLOBAL
TRANSLATIONAL SCIENTISTS WITHOUT BORDERS

Stanford大を中心としたTRネットワークへの接続

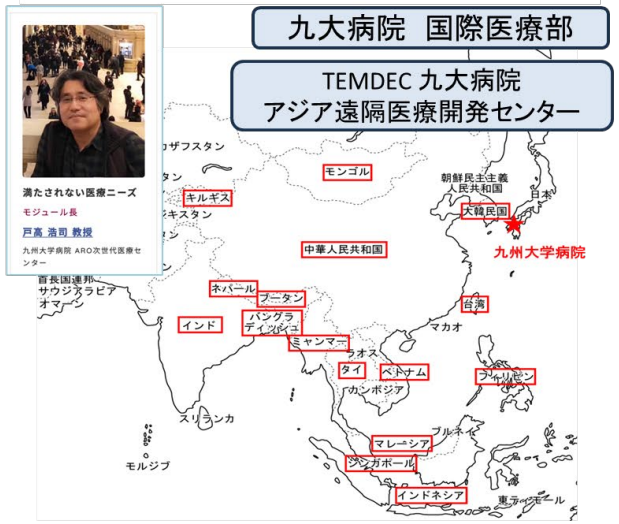
アジアから国際展開・感染症開発の強み

KYUSHU UNIVERSITY INSTITUTE for ASIAN and OCEANIAN STUDIES
九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構

満たされない医療ニーズモジュール

九大病院　国際医療部

TEMDEC 九大病院
アジア遠隔医療開発センター



17か国との臨床研究ネットワーク

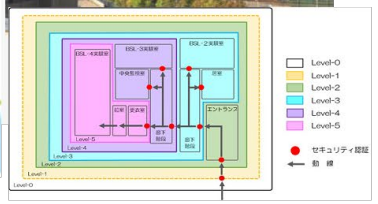
Clinical Research MalaysiaとMoU

長崎大学 感染症研究出島特区

DIDA
DEJIMA ID Alliance

SCARDA

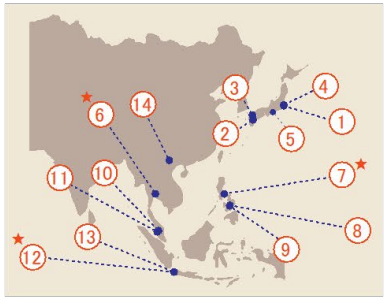
BSL-4、熱帯医学研究所を含む感染症開発体制



フィリピン・サンラザロ病院とMoU

NCGM → JIHS

ARiSE ARO Alliance for Southeast & East Asia



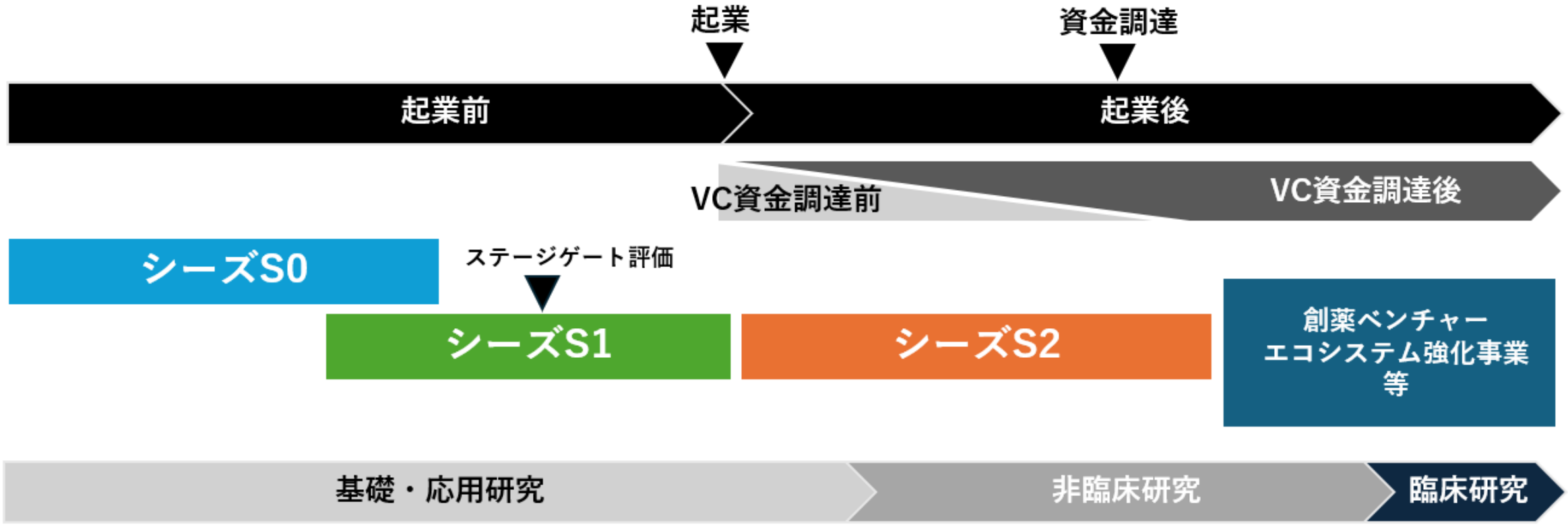
タイ	⑥ マヒドン大学シリラート病院 ★NCGM 連携オフィス設置
フィリピン	⑦ フィリピン大学マニラ校（フィリピン NIH、フィリピン総合病院含む） ★NCGM 連携オフィス設置 ⑧ コラソン・ロクシン・モンテリバノ・メモリアル・リージョナル病院 ⑨ ウェストビサヤ州立大学
マレーシア	⑩ クリニカル・リサーチ・マレーシア ⑪ マラヤ大学医療センター
インドネシア	⑫ インドネシア大学 ★NCGM 連携オフィス設置 ⑬ シロアムホスピタルグループ モフタルリアディインスティテュート・フォー・ナノテクノロジー
ベトナム	⑭ 国立バクマイ病院

アジア諸国の開発ネットワーク

2．2025年度　公募内容

KYUSHU UNIVERSITY

公募課題



シーズS0（若手育成）　シーズS1(起業前）　シーズS2（起業後）

募集課題

シーズ	対象	支援期間	支援額
S0	スタートアップを介して 医薬品・医療機器等の実用化を目指す若手研究者※1を対象に、 担当PM（プロジェクトマネージャー）と共に起業を目指す課題	**最長 2年間**	**1,000万円程度/年**
S1	スタートアップを介して 医薬品・医療機器等の実用化を目指す課題を対象とし、 臨床への応用を見据えた基礎データの取得、事業計画を策定し、支援期間内に**起業を実現する**課題	**最長 3年間** 2年目にステージゲート審査有	**3,000万円程度/年※2**
S2	アカデミア発の医薬品・医療機器等の実用化を目指す**起業直後のスタートアップ企業(国内企業)※3を対象**に、**自走可能な民間資金を獲得するため**に必要な非臨床試験等の実施を目指す課題	**最長 2年間**	**1.5億円程度/年**

※1 2025年4月1日時点で年齢が43歳未満、または②博士号取得後10年未満（出産・育児・介護期間は除く：最長2年）のどちらか高い方

※2 起業前に必要なフィージビリティ・スタディの実施や起業に必要な人材の確保、インキュベーション施設利用等のための費用も対象

※3 アカデミア発の医薬品・医療機器等の開発候補品を有すること、②原則として、起業から5年以内の国内の未上場スタートアップであること等を要件とします。なお、スタートアップ1社につき、本公募への応募は1件のみとなります。

募集課題

シーズ	達成目標	
S0	研究開発	• in vivo/ in vitroでの有効性の確認、製品基本要件の確立、試作機の作製 等
	事業化	• 研究者と起業家の違いを正しく理解し、ビジネスの観点からプロジェクトを論理的且つ簡潔に説明する • キャッシュフロー計画とバリュエーションを座学として理解し、キャッシュインの前提条件と仮説からプロジェクトの価値を定量的に示す
S1	研究開発	• 有効性以外に関する非臨床試験の達成（CMC、体内動態、毒性等について、開発中止となる懸念材料がないことを示す）又はその検証・解決に関する明確な計画の策定、試験物製造法の確立、最終製品相当の試作機作成及びその性能評価が概ね完了 等
	事業化	• 一定規模の民間投資を達成するための課題を明確にし、そのアクションプランを立てる • キャッシュインとキャッシュアウトから精緻化したキャッシュフロー計画書を策定し、想定バリュエーションに基づき資本政策案を立てる • 経営者候補が確定している

募集課題

シーズ	達成目標	
S2	研究開発	• 開発品についてGLP試験の準備・実施およびGMP製法の確立を進め、第Ⅰ相臨床試験準備を進める(医薬品・再生医療等製品) • 最終製品の仕様確立、最終製品での生物学的安全性試験(GLP試験)の開始可能な状態、治験品の製造の着手(医療機器)
	事業化	• 民間投資家からの一定規模の資金調達

応募に関する留意事項
① 承認/認証を必要とする医薬品・医療機器等の実用化を目指し、開発候補品をもっていること ② AMEDやJST等の他の競争的資金との重複獲得は認められません。他の研究資金による研究・実施内容とは明確な仕切りが必要となります。 ③ 当拠点が指定するアントレプレナーシップ教育の参加、当拠点やAMED等が指定するデモデーやピッチイベント等へご参加いただきます。 その他の留意事項は公募要領をご覧ください

※ご不明な点がある場合はぜひ事前にご相談下さい。

2025年度採択予定数

2025年度採択予定数	
S0	4 課題程度
S1	3 課題程度
S2	1課題程度

前回の公募について

	S0	S1
応募数	7	8
書面審査	7	5
ヒアリング審査数	5	4
採択数	3	0

応募内訳(モダリティ別)			
S0		S1	
医薬品	0	医薬品	3
医療機器	2	医療機器	2
SaMD	2	SaMD	2
再生医療等製品	2	再生医療等製品	0
体外診断用医薬品	1	体外診断用医薬品	0
その他	0	その他	1
合計	7	合計	8

※2024年度公募ではシーズS２は未実施

審査基準

①シーズ価値

プロジェクトの中長期マイルストーンである株式上場・M&Aを達成する際

10段階評価

- ✓社会インパクト
- ✓市場規模
- ✓収益性
- ✓革新性（独創性・新規性）
- ✓競合優位性・差別化
- ✓成長性・伸展性
- ✓ストーリー

×

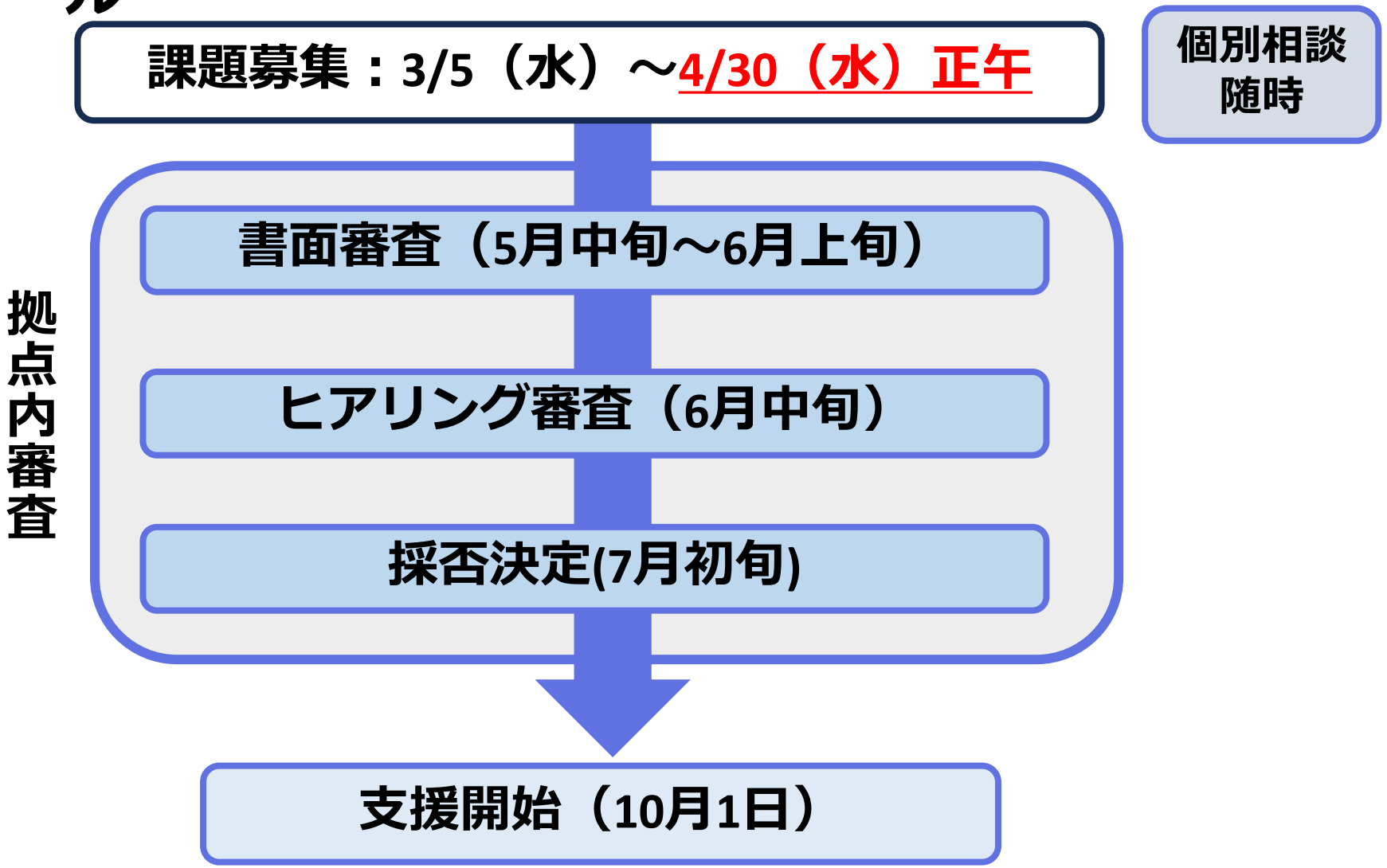
②実行可能性

プロジェクトが同マイルストーンを達成する可能性

10段階評価

- ✓研究開発計画の妥当性・実行可能性
- ✓経営戦略（事業戦略）
- ✓ビジネスモデル
- ✓チーム構築
- ✓資本政策（資金調達）
- ✓必要資金・期間（経費内訳の妥当性）
- ✓パートナリング
- ✓提案者の資質・意欲

公募スケジュール



※個別相談は随時お受けしておりますが、直前はお問合せが集中することが予想されます。**ご相談はお早めに**お願いいたします。

応募書類

必要な提出書類（共通）		
①	**（様式1）提案書**	• Word形式 • 4枚以内 （基本情報１枚＋体制図1枚＋課題の概要２枚以内）
②	**（様式2）課題予算案**	• Excel形式（年単位で作成） • 単価が50万円以上の設備備品費・単価が150万円以上の外注費については採択後見積書も提出いただきます。
③	**（様式3）研究費の応募・受け入れ状況および利益相反について**	• Word形式
④	**概要資料**	• PowerPoint及びpdf形式 • 冒頭にexecutive summary（1枚）を含めてください。 • executive summary(1枚) +10枚以内 (**合計11枚以内**)。 • スライド構成は問いませんが、事業化を意識し、市場規模(TAM, SAM, SOM)、ビジネスモデル、知財戦略、事業計画のキーポイントを必ず含めてください。 • ヒアリングを意識したスライドを作成ください。

応募書類

必要な提出書類（S2のみ）
① 商業登記簿謄本(写) ② 定款 ③ 株主名簿 ④ 取締役・アドバイザーの略歴（アドバイザーは役割概要も記載） ⑤ 社内組織図 ⑥ 事業計画書 ⑦ 資本政策 ⑧ 応募シーズに関する支援期間内での開発ガントチャートと月次（又は四半期毎）資金計画 ⑨ 特許一覧(出願日、出願国、権利者、審査状況の情報含む) ⑩ 事業報告書（直近３年分） ⑪ 決算書（直近3年分）
上記提出書類は飽くまでも応募受付・審査補助資料ですので、これらに含まれる重要なポイントは、審査の主要書類である提案書・概要資料に適切に記載するようお願いします。

お問合せ先

お問合せ先

九州大学

生命科学革新実現化拠点

橋渡研究推進部門

E-Mail: nw-info@med.kyushu-u.ac.jp

Tel: 092-642-4802

公募要領・申請書類の
ダウンロード先

wat-new

(https://wat-new.org/)